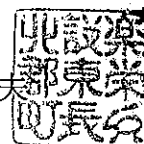


20東建 第550号
平成20年10月17日

国土交通省道路局長 殿

北設楽郡東栄町長

森 田 昭 夫



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

平成20年9月19日付け、国道企第37号で依頼のあった上記の件に

ついては、別添のとおり提出いたします。

東栄町は、少子・高齢化（高齢化率44%）が進んでいる超高齢化の町であります。限界集落という言葉がありますが、限界自治体ともいえます。

山間地域に住む住民にとって救急医療、福祉サービスの享受、通勤・通学・買い物等の住民生活、地域の活性化等にとって一番大切なものは安全で安心して通行できる道路であります。安全で安心して通行できる道路がなければますます山間地域は疲弊していきます。山間地域の道路整備を切り捨てることは限界集落を消滅集落へと導き、林地の保全放棄が進み安定した安全な水の供給等ができなくなり国土の荒廃へと繋がります。そのためにも費用対効果、財政問題を理由に山間地域の道路整備の是非を論ずるのではなく、山間地域に人が住み環境を維持してこそ下流に人の住む環境を整えることができますので、住民が安全で安心できる生活の基盤を整備することは国及び地方自治体の責務であります。

私たちの住む東栄町は、一つ一つの道路は命を守り教育を受け、生活するために無くてはならない非常に大切な道です。道路は教育、福祉など生活基盤整備を進める最も基本的な事業です。

お年寄りでも安全に走れる道路、雨が降っても安心して通行できる道路建設のため地方の道路整備財源を堅持し、山間地域でも人の住める日本の国づくりを今以上に強力に進めていただきたいと思います。

②—1 地域の現状と抱える課題

愛知県東栄町

○現状

(1) 人口・世帯数

少子・高齢化が急速に進行

高齢化率44%、20歳台は大学進学や就職等により町外へ流出

(2) 産業・就業構造

夜間人口が多く、他町村へ通勤・通学している人が多い

通勤・通学者の交通手段は自家用車がほとんど

東栄町の観光拠点

とうえい温泉は年間約20万人の利用者

(3) 土地利用

豊かな自然環境や美しい自然景観、花祭りなどの歴史・文化など地域資源が豊富。今後三遠南信自動車道の整備に伴う広域アクセスの充実と地域資源を生かし交流のポテンシャルの拡大を期待

町民意識調査結果の概要

- ・ 住みやすいと感じているのは全体の6割以上
- ・ 若者が暮らしていくためには「働く場所」と「買い物 Convenient こと」が最も重要
- ・ 他の施策と比べ「雇用対策」や「交通基盤の整備」などが重点的に取り組んでいくべき課題

○課題

少子・高齢化社会への対応

- ・ 超高齢化社会が進む中では、誰もが町内で気軽に生活できるような環境づくりや、安心して暮らせる医療、介護、福祉などの社会システムを構築していく
- ・ 誰もが安心して子どもを育てられる社会環境を地域全体で作っていくことが必要になっています。

地域社会の再構築

- ・ 花祭りをはじめとして、地域住民間の交流、都市との交流が活発に行われており、Iターンや来訪者による新たなコミュニティづくりの機運も高まっている。

地場産業を活かした地域産業の振興

- ・ 時代のニーズに応じた加工品への展開や農産物と林産物をセットにした商品の開発・販売、さらには観光と連携した農業・林業の展開など地場産品の高付加価値化を進めていくなど、東栄町のブランドの確立を進めていく必要があります。

にぎわいのある地域づくり

- ・ 消費者にとっては車を利用した近隣市町の大型店舗での購入、インターネットを使った商取引など行われている、今後は東栄町の農業、林業、観光業と連携し温泉の来訪者等に多様化、高度化する消費者ニーズに対応した振興策が期待されている

安心して暮らせる社会づくり

- ・東栄町は平成14年4月に東海地震の地震防災対策強化地域に指定され、町内には土石流危険渓流や急傾斜地崩壊危険箇所も多く、自然災害に対して、ライフラインや住宅の耐震化など防災機能の強化を図るとともに、災害時にも的確に対応できる体制を準備しておく

住民の生活と地域産業を支える都市基盤整備

- ・道路は南北を国道151号が、東西を国道473号が通り、これらを軸に集落へ通じる生活道路が枝状に伸びています。各集落においては行き止まり道路の解消など、災害時のバイパスになる道路整備が求められている。
- ・三遠南信自動車道の開通と東栄インターチェンジの開設により、都市部からのアクセスが向上することから、それに合わせた生活道路の整備を進め、有機的な交通体系の構築を図る必要がある。これらの道路整備にあわせて市街地の適切な発展、誘導を図る必要がある。

②—2 地域の目指すべき将来像

愛知県東栄町

住民と行政が一緒になって、東栄町の優れた豊富な資源（産物、環境、人）を磨き上げながら、これらの資源を活用し、都市部から人々を引き寄せ、来訪者と住民が東栄町の魅力を体験し、感動し、交流する「交流創造の郷」を目指し、まちの活力を生み出していく地域づくりに取り組み、東栄町の未来を輝かしいものにしていきます。

中心地域のある地域拠点を中心に、集落単位で自立した地域運営を展開するため、幹線道路や生活道路の整備や交通アクセスの充実等を図り、町内各集落を有機的にネットワークする地域連合軸を形成します。また、周辺市町村との役割分担、機能連携を図るとともに、地域資源を活用した広域的な産業構造、交流振興を展開するため、広域ネットワークを強化する広域連携軸を形成します。

まちの将来像「キラリと輝く 自立を育む 交流創造の郷」

☆ キラリと輝く：地域資源（産物・環境・人）を活かしたまち、星空の綺麗なまち

☆ 自立を育む：自立的な自治体経営ができるまち（経済的・財政的な自立）、地域特性を踏まえた独自性のあるまち、「自助、共

☆ 助・互助」の精神に基づく住民自治のまち（自立した住民）

☆ 交流創造：交流産業等による活力のあるまち、支え合い・助け合いなど日常的な住民同士の触れ合いの盛んなまち、訪れる人と住民とが交流し新たな文化を創造するまち

今後の道路行政について意見・提案

様式③

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

愛知県東栄町

○重点事項 地域の活性化	○ 代表事例 一般国道474号三遠南信自動車道の整備促進	○ 期待する効果や評価等 一般国道474号三遠南信自動車道は、第4次全国総合開発計画で提唱する交流ネットワーク構想を推進するための高規格幹線道路網の一環として、現東名道路及び新東名高速道路を直結し、南信地域、東三河地域及び遠州地域を連絡するとともに既存の高速交通体系から離れた地域への高速サービスを提供し、これらの地域の秩序ある開発、発展に大きく寄与するものである。	○ その他 中央自動車道、中央自動車道長野線、関越自動車道上越線と道路網を形成することにより、日本列島の中央部を横断し、太平洋と日本海とを直結する幹線道路の一部としての役割を有する。
安心・安全で快適な道路網整備	・主要幹線道路の整備 ・集落間連絡道路の整備 ・東栄インターチェンジ開設に向けたアクセス道路の整備	町内には南北に国道151号、東西に国道473号が通っており、これらを軸に主要地方道3路線及び一般県道7路線が接続し、さらに網目状に町道が延びる形で道路網が整備されています。町内の道路は標高200m～750mに位	主要地方道3路線 ・主要地方道 天竜東栄線 ・主要地方道 阿南東栄線 ・主要地方道 東栄稲武線 一般県道7路線 ・振草三河川合停車場線

		置する山間道路で、急カーブ、急勾配の道路が多く、冬季は路面の凍結も多く危険であることから、安全で快適な走行と時間を図るための道路改良実施が求められています。本町は東海地震防災対策強化地域に指定されたことから道路橋等の耐震補強など、災害には強い道路整備をする必要があります。各集落間の町道は幅員が3m程度と狭く、通り抜け抜けができない道路も多いため災害時には孤立状態になることから、生活上不安を抱えることがないよう道路改良およびバイパス道路の整備が求められています。 三遠南信自動車は本町の活性化に大きな期待が寄せられていることから、早期にアクセス道路の整備を推進していく必要があります。	・坂宇場津具設楽線 ・古真立佐久間線 ・足込上黒川線 ・八橋中設楽線 ・川角東栄停車場線 ・御園浦川停車場線
--	--	---	---